

「東京ソーシャルボンド」の取得について

こくみん共済 coop 〈全労済〉（全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事 理事長：打越 秋一）は、このたび、東京都が発行する「東京ソーシャルボンド」（以下、本債券）を取得しました。

本債券は、東京都が2025年7月に策定した「東京都ソーシャルボンド・フレームワーク」にもとづき発行されています。東京都ソーシャルボンド・フレームワークは、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国際資本市場協会（ICMA）の「ソーシャルボンド原則2025」および金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン2021年版」に適合しているとの評価を取得しています。

当会は、資産運用方針の中でESG運用（環境・社会・企業統治に配慮している発行体を重視・選別して行う運用）を実施していくこととしており、本債券の取得を決定いたしました。

理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実践の一環として、今後もESG運用を含めた持続可能な社会づくり・セーフティネットづくりに取り組んでまいります。

<概要>

名 称	第9回 東京ソーシャルボンド
発 行 体	東京都
発行体格付	A+ (S&P)
発行総額	250 億円
償還期間	5 年

<こくみん共済 coop >

正式名称：全国労働者共済生活協同組合連合会

たすけあいの生協として1957年9月に誕生。「共済」とは「みんなでたすけあうことで、誰かの万一に備える」という仕組みです。少子高齢社会や大規模災害の発生など、私たちを取り巻く環境が大きく変化しているなか、こくみん共済 coop は、「たすけあい」の考え方や仕組みを通じて「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」にむけ、皆さまと共に歩み続けます。

◆こくみん共済 coop たすけあいの輪のあゆみ：<https://www.zenrosai.coop/web/ayumi/>



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年（International Year of Cooperatives : IYC）に定めました。こくみん共済 coop はIYC2025に賛同しています。

<https://www.zenrosai.coop/zenrosai/profile/kokusai/iyc/2025.html>

たすけあいの輪をむすぶ

<リリースに関する問い合わせ先> こくみん共済 coop SDGs・ブランド戦略部

〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10 電話：03-3299-4232／Email:koho@zenrosai.coop

<ご掲載・ご取材に関するお問い合わせ先>

株式会社ユース・プラニング センター 担当：藤井、河名、川上

Tel:03-6821-8699 / Fax:03-6821-8869

藤井:090-7900-7866 / s-fujii@ypcpr.com

河名:090-7900-2759 / k-kawana@ypcpr.com